

令和 5年度 9月補正予算 第4号(案) の概要

今回の補正予算は…

- ① 物価高騰 対策事業
- ② 将来を見据えた重点施策

区 分	金 額 (千円)			増減率 (%)
	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減	
当 初 予 算 額	29,340,000	27,777,000	1,563,000	5.6
補正前予算総額	29,752,987	28,238,503	1,514,484	5.4
9月補正予算額	1,106,592	911,253	195,339	21.4
補正後予算総額	30,859,579	29,149,756	1,709,823	5.9

予算規模

11億659万2千円

健康福祉部 健康増進課、長寿介護課、社会福祉課

予算額 **8,046万6千円**
コロナ交付金

医療機関・高齢者施設・障がい者施設等物価高騰対策支援事業

■事業概要

収入が公定価格などのため、電気料金や食材費をはじめとした物価高騰の影響を価格に転嫁できない医療機関・高齢者施設・障がい者施設等に対し、物価高騰対策支援を行うことにより、事業継続への負担軽減を図ります。

◆補助対象等

① 対象者 市内の医療機関・高齢者施設・障がい者施設等

※ 令和5年4月～9月の間に、公的医療保険の診療実績(高齢者施設・障がい者施設等はサービス提供実績)があること

② 補助額	診療所(病床なし)	50万円/施設	高齢者・障がい者入所施設(定員に応じて)	最大75万円/施設
	診療所(病床あり)	80万円/施設	高齢者・障がい者居住施設(施設区分に応じて)	最大30万円/施設
	病院	100万円/施設	高齢者・障がい者通所事業所(施設区分に応じて)	最大15万円/施設
	歯科・薬局	10万円/施設	高齢者・障がい者訪問事業所	8万円/施設
	施術所・助産所等	8万円/施設		

◆事業実施時期

令和5年12月頃



健康福祉部 子どもいきいき課

健康福祉部 健康増進課

予算額 1,100万円 コロナ交付金

おむつ・粉ミルク等無償宅配事業

■事業概要

赤ちゃん物価指数が高騰していることから、0～2歳児の育児をしている世帯の経済的負担軽減等を図るため、紙おむつ・粉ミルク等の無償宅配を試験的に実施します。



◆対象

- ①令和3年4月2日から令和5年8月31日までに生まれ、令和5年10月1日現在、本市に住民票のある児童
- ②令和5年9月1日から12月31日までに生まれ、生まれた時点で本市に住民票がある児童（※①②合計700人を想定）

◆実施内容

紙おむつ、粉ミルク等のうち2点を配布
(令和5年11月～令和6年2月の間の各月)



予算額 470万3千円 コロナ交付金

インフルエンザ予防接種費助成事業 (中学3年生、高校3年生相当対象)

■事業概要

子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、インフルエンザの重症化を予防し、安心して受験を迎えていただくことを目的に、接種費の助成を行います。

◆対象

鳴門市に住民登録のある中学3年生および高校3年生相当の方

- ①平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの方
- ②平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの方（計約900人）

◆助成内容 一人1回 無料で接種

(市内指定医療機関以外は上限5,225円で自己負担額を払い戻し)

接種期間:令和5年11月1日～令和6年1月15日



教育委員会 教育総務課 学校給食センター

健康福祉部 子どもいきいき課

予算額 **3,251万9千円** コロナ交付金

予算額 **86万6千円** コロナ交付金

給食食材費に係る物価高騰対策支援事業

物価高騰対応副食費補助事業

■事業概要

■事業概要

学校給食において、栄養バランスや品質を保ちつつ、安定した提供を維持するとともに、物価高騰に直面する保護者の負担を軽減するため、食材費高騰分を市が負担します。

物価高騰等の影響を受け、食材費の増加が続いている就学前の私立認可教育・保育施設に対し、市独自で実施している副食費補助を5,000円に引き上げることにより、保護者の負担軽減と給食の質を確保する。

◆対象

学校給食センターが提供する給食の食材費高騰分

◆対象

就学前の私立認可教育・保育施設
(公立施設については、既決予算で対応)

◆支給内容

対象児童1人当たり最大月5,000円を所属する施設に支給。(令和5年4月分より適用)



健康福祉部 子どもいきいき課
教育委員会 学校教育課

環境共生部 クリーンセンター廃棄物対策課

予算額 **261万2千円** コロナ交付金

電気料金等高騰対策支援補助金

■事業概要

市内に所在する私立認可保育所・認定こども園・幼稚園、放課後児童クラブに対し、電気料金及びガス料金の高騰分への補助を行う。



◆対象

市内に所在する私立認可保育所・認定こども園・幼稚園等
(9月分～2月分までの電気・ガス料金のうち令和3年度から増額した費用)

◆補助金等の額

対象となる費用の1/2の額(上限30万円)



予算額 **367万5千円** コロナ交付金

環境衛生事業者に対する 物価高騰対策支援事業

■事業概要

燃料費等の高騰による影響を受けている生活環境衛生関係の許可業者等を支援し、生活環境衛生の安定的な事業継続を図ります。

◆対象

- ・一般廃棄物処理業の本市許可業者
- ・資源ごみ収集業務の委託業者

◆支給内容

車両台数 × 7.5 万円

※収集量に応じて車両台数に上限あり

産業振興部 農林水産課

産業振興部 農林水産課 水産振興室

予算額 1,500万円 コロナ交付金

予算額 1,896万円 コロナ基金

肥料価格影響緩和対策事業

■事業概要

肥料価格や生産資材の価格が下がらず、依然として厳しい経営が続いている市内農業者を支援するため、「化学肥料低減」の取組の定着に向け、生産者団体である農協に対して補助金を交付する。

◆対象

市内3農協に対し、取組に必要な補助金を交付

補助金額: 肥料購入の負担減に対する補助(上限400万円) + 化学肥料低減への取組用資機材の導入費用(上限100万円)

水産業事業継続給付金

■事業概要

燃油価格の高騰等により、依然として厳しい経営が続いている市内漁業者を支援するため、生産者団体である漁協の経営支援を目的とした給付金を給付する。

◆対象

市内8漁協に対し、事業継続のための給付金を給付

給付金額: 給付基本額50万円 + 施設費等の支出状況に応じた加算額(上限300万円)

産業振興部 商工政策課

予算額 **1,000万円** 寄附金

アフターコロナ事業者支援パッケージ事業 (2次募集)

■事業概要

市内中小企業者等の経営改革への取り組みを「DX」「GX」「リクルーティング」の3つのメニューにより、総合的かつ一体的に支援し、事業継続・事業拡大を図ります。

(株)鳴門太陽光発電所からの寄附金を活用し、同事業の2次募集を実施します。

- ◆「DX」・・・補助率2/3(補助上限20万円)
- ◆「GX」・・・補助率2/3(補助上限20万円)
- ◆「リクルーティング」・・・補助率2/3(補助上限20万円)

産業振興部 商工政策課

予算額 **600万円** コロナ交付金

燃料価格高騰対策緊急支援金給付事業

■事業概要

電気を主とした省エネルギー化設備投資の支援メニューの活用が難しい重油・軽油・ガスなどの燃料を主たる事業に使用する事業者への緊急支援として**10万円の支援金**を給付します。

市民生活に必要な公衆浴場やクリーニングなどに加え、本市の伝統産業を守るため、大谷焼の窯元を支援します。

◆対象業種

- ・普通公衆浴場
- ・クリーニング
- ・タクシー事業者等
- ・貨物運送(トラック等)
- ・大谷焼の窯元

産業振興部 商工政策課

予算額 **200万円** コロナ交付金

復活！「なるとまちバル」開催事業

■事業概要

市内飲食店等の各店舗をはしごして食べ歩き飲み歩きを楽しんでもらう「なるとまちバル」を5年ぶりに開催し、地域ににぎわいを創出します。

- ・2月頃に開催し、閑散期の**需要喚起・新規顧客獲得**につなげる。
- ・観光振興の観点から「**ナイトタイムコンテンツ**」のイベントを同時開催し、相乗効果を図る。
- ・飲食店等への物価高騰対策として、参加店舗には**協力支援金**を配布し、同イベントに参加しやすいよう支援。

産業振興部 観光振興課

予算額 **150万円** コロナ交付金

レンタカー利用者助成事業

■事業概要

インバウンドや関東圏からの観光客の増加を見据え、レンタカーを利用する観光客等に対する助成制度を実施し、市内観光の回遊性の向上を図るとともに、閑散期における観光誘客促進につなげます。

◆対象

レンタカー(全国のレンタカー会社)を利用して市内宿泊施設に宿泊された方に3,000円を助成します。



健康福祉部 健康増進課

予算額 **1億1,878万3千円** 国費

新型コロナウイルスワクチン接種事業

■事業概要

令和5年秋開始接種に係る新型コロナウイルスワクチン接種事業の予算を計上します。



◆対象

初回接種を完了した方 約46,000人

※ 接種勧奨・努力義務があるのは65歳以上高齢者と基礎疾患を有する方

◆使用するワクチン

ファイザー社製1価(XBB.1.5)ワクチン
モデルナ社製1価(XBB.1.5)ワクチン

◆接種券

- 3回目以降の追加接種をしていない方は、
現在お持ちの接種券を使用
- 下記①②の接種券をお持ちでない方は、
9月中旬以降に順次送付



- ①令和5年春開始接種(R5. 5/8~9/19)で追加接種した方
- ②令和4年秋開始接種(R4.9~R5. 5/7)を接種した64歳以下の方

◆予約方法

ウェブ予約またはコールセンター

企画総務部 戦略企画課 地域交通推進室

予算額 **190万円** ふるさと基金

サイクルツーリズム推進事業

■事業概要

(1)「シェア・ザ・ロード」の啓発

自転車が車道の左側を通行しやすい環境の創出等を図るため、自転車や自動車がお互いの立場を思いやる気持ちを基本として、道路を安全に共有する意識の啓発に取り組む。

※シェア・ザ・ロード:愛媛県の事例



(2)「いいサイクリングの日」

「11月3日」を「なると サイクリングの日」に、「11月全体」を「なると サイクリング月間」として設定し、様々な場面において、自転車の利用を呼びかけるとともに、未経験者や初心者、女性等の参加を対象としたイベントを実施。(女性をターゲットにしたイベントやサイクルフォトラリー等)



大鳴門橋自転車道整備を見据え、**サイクリストの受入環境整備、自転車利用者の裾野拡大を通じた機運醸成や地域活性化等**を図り、「自転車フレンドリーなまちづくり」を目指す。

市民生活部 市民協働推進課

予算額 266万6千円

県費:130万円 ふるさと基金:136万6千円

自転車用ヘルメット購入費補助事業

■事業概要

本年4月施行の「改正道路交通法」により、自転車利用者にヘルメット着用が努力義務となりました。ヘルメットの着用率は低水準であることから、自転車乗車用ヘルメットを購入した市民を対象に購入費の一部を補助します。

◆補助対象者

市内在住の65歳以上の方および市内在住の高校生世代の方

※令和5年8月4日以降の購入分が補助対象になります。

◆補助金額

購入金額の2分の1(100円未満の端数は切り捨て) ※上限3,000円

◆補助(受付期間)

令和5年11月1日(水)から令和6年3月29日(金)まで ※予算額上限に達し次第終了



産業振興部 観光振興課

企画総務部 危機管理課

予算額 **417万9千円** ふるさと基金

予算額 **238万7千円** 一財

ナイトタイムコンテンツ造成事業

■事業概要

「なるとまちバル」にあわせて、民間事業者等が行う、継続実施が見込まれるナイトタイムコンテンツ造成事業に対して、補助金を交付し、ナイトタイムコンテンツを充実させることで、滞在時間の延長による消費活動の拡大や宿泊促進につなげます。

また、観光客に夜の鳴門を楽しんでいただけるよう、夜に利用できる市内飲食店等の情報を集約・発信します。



地域防災リーダー養成事業

■事業概要

南海トラフ巨大地震を見据え、市民の地域防災力と、市職員の災害対応能力の向上を図るため、地域防災リーダー(防災士)を養成します。

◆対象

市民及び市職員

自助

・自分の命は自分で守る。

共助

・地域、職場で助け合い、被害拡大を防ぐ。

協働

・市民、企業、自治体、防災機関等が協力して活動する。

